

記事

[Hiroshi Sato](#) · 2020年10月29日 1m read

SQLログイン認証の際にログを出力する方法

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

以下のようにユーザ名、パスワードを引数に持ち、認証が成功した場合はユーザ名、失敗したときは""(NULL)を返すルーチン(SecTest^SecTest)を作成し、標準の認証システムを書き換えることができます。

```
SecTest(user,pass)
// user1のパスワードがuser1の場合、認証OKのログを作成
if user="user1",pass="user1" {
  set ^sqllog($i(^sqllog))="認証OK;"$horolog_"user
  quit user
}
// 認証できなかった場合、認証NGのログを作成
set ^sqllog($i(^sqllog))="認証NG;"$horolog_"user
quit ""
```

このルーチンを\$SYSTEM.SQL.SetSQLLoginOverride()関数を使用して置き換えます。

```
do $SYSTEM.SQL.SetSQLLoginOverride("SecTest^SecTest")
```

ただし標準の認証ができなくなりますので、パスワードを別に保管、参照する仕組みを記述する必要があります。

[#認証 #Caché #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/sql%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%AA%8D%E8%A8%BC%E3%81%AE%E9%9A%9B%E3%81%AB%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%82%92%E5%87%BA%E5%8A%9B%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95>